

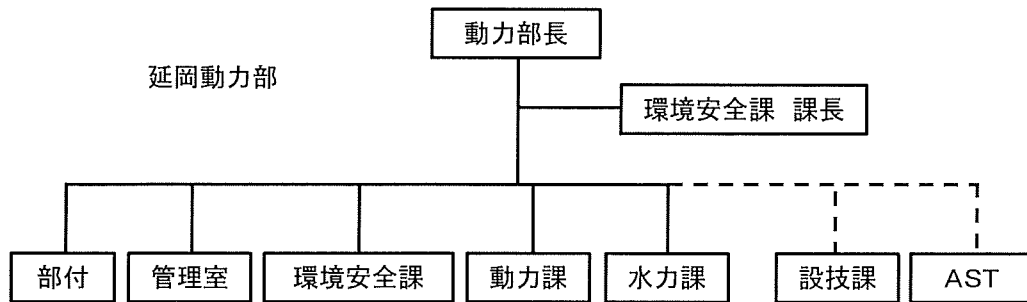
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 26 日	
宮崎県知事	
河野 俊嗣 殿	
提出者	
住 所 宮崎県延岡市旭町4丁目3400番地の1	
氏 名 旭化成株式会社 延岡支社 延岡動力部	
部長 角田 耕一	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0982-22-4500	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	旭化成株式会社 延岡支社 延岡動力部
事業場の所在地	宮崎県 延岡市 旭町 4 丁目 3 4 0 0 番地の 1
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	33 電気業
② 事業の規模	630,007.766 MWh（令和6年度 発電電力量）
③ 従業員数	133名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1、2のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】 別紙 - 3 のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別紙 - 3 に、【旭化成株式会社 延岡支社 延岡動力部】と、2025 年 4 月 1 日付けで会社合併を行った【旭化成エヌエスエネルギー株式会社】の令和 6 年度の実績を別々に記載致します。		
②計画	【目標】 別紙 - 3 のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙 - 3 に、【合併した令和 7 年度分についての計画目標】を記載致します。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物は、別紙 - 3 のとおり。置き場については、種類別の置き場に囲いを設け、混入などない様に分別しての保管を継続して行う。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新しく排出・分別する予定の廃棄物はなし。会社合併に伴う旭化成エヌエスエネルギー株式会社の電子マニフェストについては、今後 5 年間 JW ネットのシステムにて、履歴情報の管理を行う。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施の予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
	実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
	実施の予定なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施の予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】 別紙 - 4 のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙 - 4 に、【旭化成株式会社 延岡支社 延岡動力部】と、2025 年 4 月 1 日付けで会社合併を行った【旭化成エヌエスエネルギー株式会社】の令和 6 年度の実績を別々に記載致します。		

(第5面)

②計画	【目標】別紙 - 4 のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙 - 4 に、【合併した令和7年度分についての計画目標】を記載致します。		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

図 1 産業廃棄物の一連の処理の工程(ばいじん及び燃え殻:石炭灰)

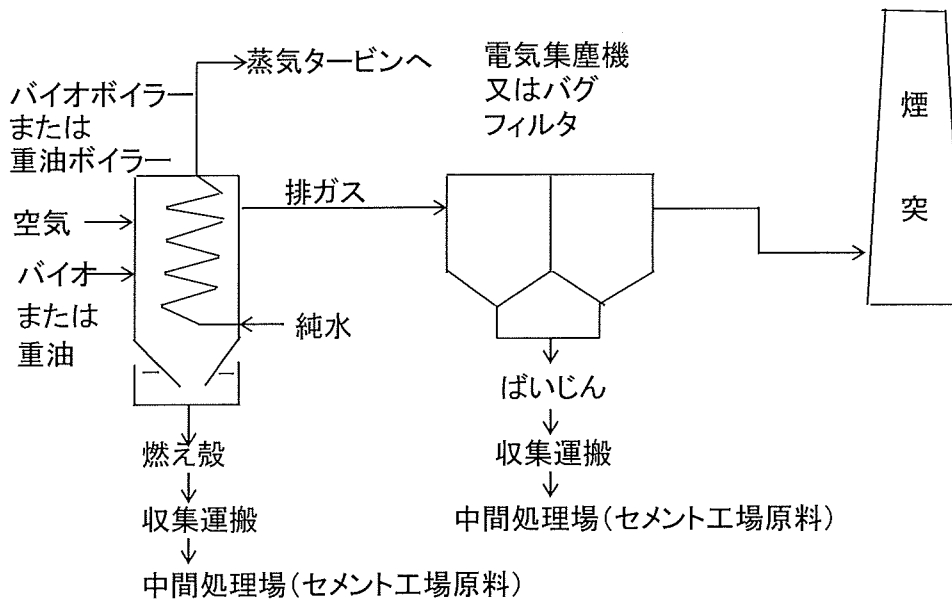


図 2 産業廃棄物の一連の処理の工程(汚泥)

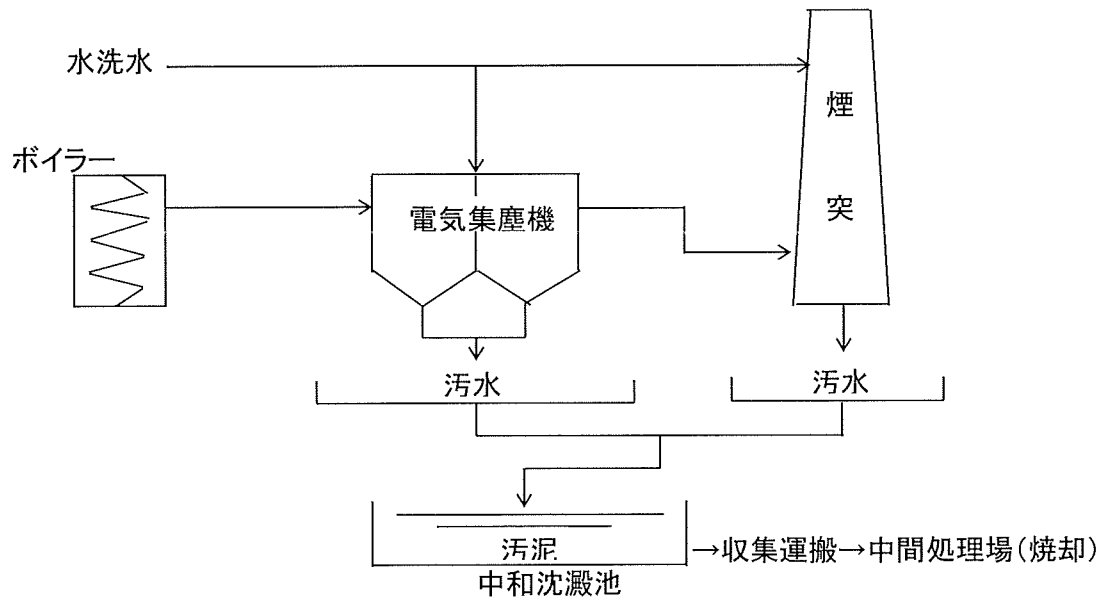


図 3 産業廃棄物の一連の処理の工程(汚泥)

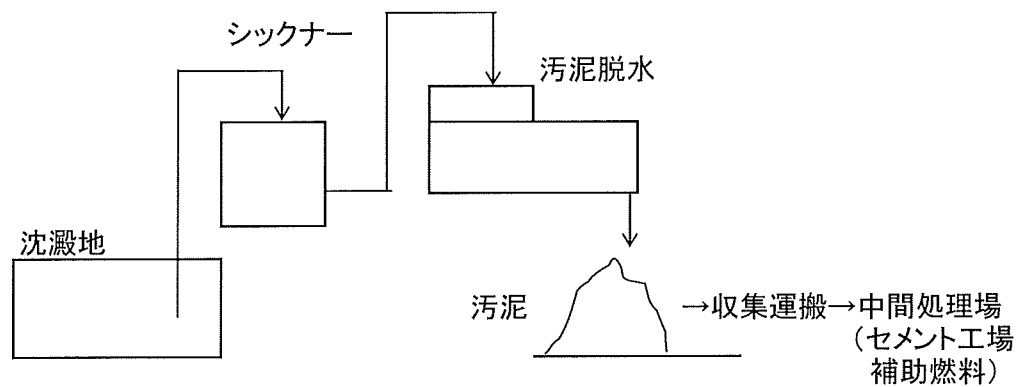
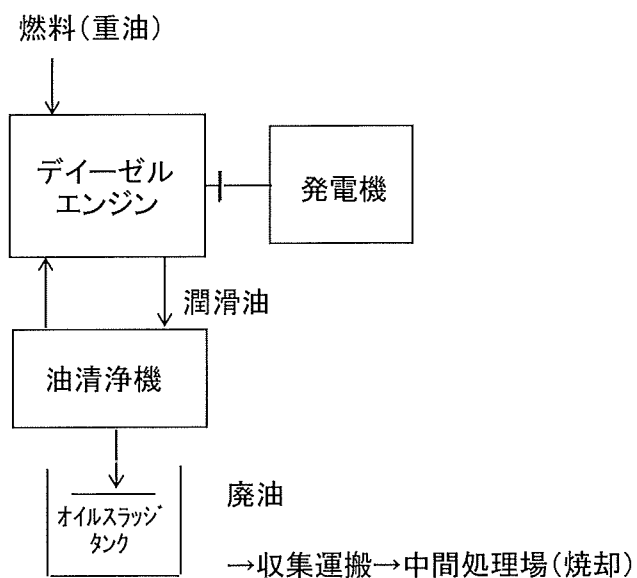


図 4 産業廃棄物の一連の処理の工程(廃油:ディーゼル発電機)



・産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【旭化成株式会社 延岡支社 延岡動力部 令和6年実績】

①
現
状

【前年度（令和6年度）実績】											
産業 廃棄物 の種類	ばいじん	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラ	鉱さい	金属くず	ガラスくず	木くず	水銀使用製品 産業廃棄物	混合廃棄物 （金属くず・汚 泥）
排出量	6489.85 t	2692.62 t	347.68 t	53.54 t	10.91 t	0 t	193.00 t	0 t	1.50 t	0.08 t	0.0145 t
（これまでに実施した取組）											
・ バイオマスボイラーのバイオマス燃料使用増加によって化石燃料の伴うばいじん・燃え殻の発生削減を実施している。 ・ 発電用石炭ボイラーからガスタービン発電設備への転換実施による、ばいじん・燃え殻発生量の低減。											

【旭化成エヌエスエネルギー株式会社 令和6年実績】

① 現状

【前年度（令和6年度）実績】								
産業 廃棄物 の種類	ばいじん	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラ	鉱さい	コンクリート くず	
排出量	17265.24 t	2696.03 t	4.59 t	1.73 t	0 t	0.90 t	0 t	
(これまでに実施した取組)								
・ バイオマスボイラーのバイオマス燃料使用増加によって化石燃料の伴うばいじん・燃え殻の発生削減を実施している。 ・ 発電用石炭ボイラーからガスタービン発電設備への転換実施による、ばいじん・燃え殻発生量の低減。								

【合併した令和7年の計画目標】

②
計
画

【目標】											
産業 廃棄物 の種類	ばいじん	燃え殻	汚泥	廃油	廃プラ	鉱さい	金属くず	木くず	水銀使用製品 産業廃棄物	混合廃棄物 (金属くず・汚 泥)	
排出量	26500 t	6500 t	500 t	260 t	15 t	8 t	200 t	20 t	1 t	1 t	
(今後実施する予定の取組)											
・バイオマス燃料の安定継続使用による化石燃料に伴うばいじん・燃え殻の発生削減。											

